

「移動電源車のデモ車両をベトナムで製造」が新聞に掲載されました。デモ車両の製造後、電力会社等にモニター貸出を行い、本格的に販売を促進させます。

2015年4月3日 日刊工業新聞掲載

移動電源車のデモ車両

神鋼造機、ベトナムで製造

来年、現地電力に貸し出し

神鋼造機（岐阜県大垣市、米谷剛人社長、0584・89・3121）は、ベトナムで移動電源車のデモ車両を製造する。現地で部材の調達や製造を行い、年内にも完成させて、2016年から現地の電力会社などにデモ車を貸し出す。同国は電力需要の増加などにより移動電源車の潜在需要は大きい。現地では同様の車両は珍しい。実物を貸し出すことで利点を訴求する。同社は環境エネルギー分野の事業に力を注いでおり、17年以降に商談を本格化させ、まずは年5～6台の販売を見込む。



デモ車を製造

移動電源車は停電発生時に電源の確保や工事現場などの仮設電源などに使用する。デモ車はベトナムの電力事情を考慮して、出力400キロワットの仕様にする。5月をめ

どに日本での設計を完了し、部材の現地での手配、品質管理などを経て現地で組み立てる。部材調達では神戸製鋼

所グループの神鋼商事と連携。また車両の組み立ては神鋼エンジニアリング&メンテナンス（神戸市灘区）のベトナム法人に依頼する。製造と平行して、デモ車を貸し出す現地の電力会社などと貸し出し契約の締結や特殊車両登録などを進める。貸出期間は6カ月程度を予定。また現地生産に向けて、日本での研修の受け入れや現地への技術者の派遣も検討する。

神鋼造機は移動電源車のパイオニアで50年以上の実績がある。これまでの国内の電力会社、通信会社などに供給してきた。海外展開に向けて、11年7月にホーチミン市に駐在員事務所を開設。13年には現地でセミナーを開き、同国政府関係者や電力・通信会社の幹部を招くなど、市場調査や販売に向けた準備を進めてきた。